保護者等説明会の質疑応答まとめ

Ｑ　コロナ等により、不登校の生徒が増えていると聞いた。部活の存在が学校に行くモチベーションになっている生徒もいると思うが、地域移行によってその生徒たちが置き去りにはならないか。

Ａ　不登校と部活動との因果関係については十分な分析ができていない。ただ、ご意見のとおり、学校での部活動が無くなることで、それを楽しみに登校していた子供の居場所がなくなることは懸念されることである。一方で、各地域の中で新たな部活動が出来ることは、子供の居場所が増えるきっかけにもなると考えている。

Ｑ　生涯スポーツと競技スポーツの両方を推進するという説明で、生涯スポーツについては平日に実施できると思うが、競技スポーツについては、休日のみチーム練習等を行うようになるのか。そうだった場合、十分な競技成果をあげられるのか。

Ａ　競技スポーツとしての練習は、休日が中心となる。また、成果については、今後、研究していく必要があると考えている。

Ｑ　休日の部活動指導者は、町教委主催または町教委が認めた講習会を受講することが認定要件となっている。これは、講習会を受講さえすれば誰でも指導者になれるということか。

Ａ　基本的には、講習会を受講すれば指導者になれるとしている。ただし、受講した方でも、指導者として認めるかどうかを町教委で判断する場合もある。

Ｑ　休日の合同部活動は月会費が発生するものである。子供との相性もあると思うので、派遣指導者について認めるかどうか、保護者からの意見は加味されるのか。

Ａ　派遣指導者を許容するか否かについて、保護者の意見をふまえることは、現時点で検討していない。しかしながら、指導者が誰かによってその部活をするか決める生徒、保護者は実際におられると思う。例えば、一種目につき一団体が基本だが、人数がそろえば複数の団体が立ち上がることで、選択肢が増えるケースがあると考えている。

Ｑ　大会に出るためには、合同部活動への参加が必須だと思うが、平日に一生懸命頑張っていても、休日に塾等があるために合同練習に参加できないというのは不憫に思う。平日の活動のクオリティを上げていかないと、休日や他クラブで活動している生徒の方が能力、技術的にも高くなるため、大会に出られないのではないか。

Ａ　ご意見のとおり、平日しか出られない子供もいれば、逆に休日しか出られない子供もいることが想定される。現段階で、休日のみの移行ということで、平日と休日を分けた方針となっているが、子供の状況によって不公平が出ないように進めていきたいと考えている。

Ｑ　休日の活動については、種目ごとに活動場所が定められるということだが、自転車で行けるような距離でない時には、そこに移動するためのバスは出してもらえるのか。

Ａ　遠方への移動が必要になる生徒への補助は現時点で予定していない。しかしながら、保護者の方の送迎に頼る形になるので、今後、検討の必要があると考えている。

Ｑ　サッカーは部活動の中でも特に人数が必要な競技であるため、様々な団体に、一緒に活動しようと呼び掛けている。その関係で、指導者の人数制限について考えられていることはあるか。

Ａ　指導員の人数制限は、今後考えていく必要がある。下限については、一人での指導とならないよう、複数の指導者をつけたいと考えている。

Ｑ　競技人口を確保する意味で、郡外の子供が参加を希望した時に参加できるのか。

Ａ　郡外の子供の参加も認める方向で検討している。理由としては、競技人数の確保もあるが、他市町からの区域外就学で町内の学校に通う生徒もいるためである。

Ｑ　平日は各中学校でクラブ活動をし、休日はクラブチームに参加するイメージだと思う。そうなると、平日と休日で切り離された活動になるが、道具・用具は学校のものを使うのか、それともクラブチームで買うのかで大きく変わってくる。立ち上げ当初から買いそろえる必要があるのなら、クラブチームによって格差も出ると思うが、どう考えられているか。

Ａ　現在部活動で使用している道具は、有効活用していきたいと考えている。ただ、今後、準備が必要になる場合も含めて検討していく。一つの例として、月会費の一部をあてることも考えられるが、月会費が高額になることは避けたいと考えている。

Ｑ　大会出場を考えた時に、中体連に所属するのか、別の団体に所属するのかで指導者が取るべき資格も変わってくるので教えてほしい。また、子供によって活動に対する姿勢や考え方も異なると思うので、あまり合同部活動参加へのハードルを上げてほしくないという気持ちがある。

Ａ　子供のことを一番に考えるという考え方に基づき、子供、保護者、指導者の方、地域の方にとって望ましい方法を模索している。今後新たに立ち上げるチームがどの大会に参加するのかという質問については、中学校に通っている生徒の受け皿となる団体を立ち上げるという方針に基づくと、中体連の大会に参加することが基本になると考えている。

Ｑ　平日と休日の指導者が異なる場合が多いと思うが、子供からすると、指導者によって教え方が違うと混乱するのではないか。指導者同士の連携は必須だと思う。

Ａ　いただいたご意見のとおりである。大会に向けた練習は、休日に行うことから、休日の指導者が平日の練習についてイニシアチブをとる想定である。休日の指導者が平日の練習メニューをある程度示しておくことで、子供たちも平日に活動しやすくなるのではないかと考えている。

　平日の先生方の指導については、今までとは考え方を変え、先生主導から、子供たちの自主性、自発性を尊重した活動にしていく必要があると考えている。

Ｑ　合同部活動とは、既存のクラブチームとは別のクラブチームを立ち上げる認識で良いか。また、現時点で休日の指導者確保の目途は立っているのか。

Ａ　１点目について、既存のクラブチームとは別の団体を立ち上げる方向で整理している。ただし、今後の取組の中で、既存のクラブチームが合同部活動に参加する意向を示された時には調整の必要があると考えている。

　２点目の指導者確保については、現在、方針を検討中であり、固まり次第、動いていきたいと考えている。

Ｑ　生徒のアンケートを見たところ、平日のみの活動で大会に出場したい者が多いと推測されるが、方針案では平日のみの活動では大会に参加できないとされている。この理由を教えてほしい。

また、平日の部活動は生徒が主体的に活動することとなっている。単独校での人数が確保できた場合でも、大会に出られないというのはかわいそうではないか。

Ａ　１点目については、基本的に大会は休日に行われている現状があること、休日の生徒は月会費を納めて参加しているということで、平日と休日の住み分けが難しくなるためである。しかしながら、平日のみの活動で大会に出たいという子供が多くいることも事実であり、大会に出場できる仕組み作りの必要性を感じている。

２点目については、熱意のある子供の希望を叶えたいという気持ちはある。例えば、三中学校で立ち上げる合同部活動とは別に、同種目で新たな団体を立ち上げるとすると、さらなる人数の分散を招いてしまうため、これは難しいと考えている。